

優秀賞

学校

福岡市立 筑紫丘小学校【南区】

長期にわたって、環境問題をテーマに「リサイクルポスター展」を実施しており、ハイレベルなテーマに対して、高学年のほぼ全員の児童がポスター制作を行うことで、児童たちの環境意識向上につなげています。

自治協議会や自治体、企業の専門知識を多く取り入れており、1年度で350点を超える作品が提出されるほど、学内での環境意識が高くなっています。

入賞作品については、表彰式を実施するほか、町内の掲示板に掲示されることで、地域全体の環境意識向上にも寄与している活動です。



特別賞

団体

飯原公民館 家庭教育学級「親子塾」【早良区】

飯原校区の中心を南北に流れる油山川において、小学生親子向けの観察会を実施し、大人から子どもまで川や植物などの大切さを学ぶことができる機会を提供しています。

観察会の中では、親子で川に入って魚獲りや植物観察を行い、その後、獲った魚を観察しながら、魚や川の大切さについて学習しています。

活動の前には、油山川の清掃や周辺の草刈りなどを行っており、安全な環境づくりに努めています。

また、活動後には参加者や大学生、地域団体を含めて交流会を開催することで、世代を超えた交流の場にもなっています。



優秀賞

学校

学校法人 福岡幼児学園紅葉幼稚園・ナーサリーライムスクール【早良区】

糸島市の白糸の森にて、木こりの方々の協力のもと、年長児の間伐体験を行い、子どもたちが五感を使って、自然の大切さや間伐の必要性について学ぶ取り組みです。

大人が教えすぎず、子どもたちが実際に手を動かし、感じ、考える中で「なぜ必要なのか」を子どもたち自身に気づいてもらう活動となっています。

いきなり「how to」を伝えるのではなく、まず実際に「to do」することで、原体験を通して学ぶことを重視されており、こうした経験によって、自然をより身近に感じ、将来に向けて森林を守り育てる意識を育む貴重な機会となっています。



みらいチャレンジ賞

個人

ギムノ・アイラ【城南区】

梅林にある梅の広場の雑草や落ち葉を見て、焼却による二酸化炭素の排出や処理コストが気になったことをきっかけとして、ごみとして処分される雑草や落ち葉を再利用してコンポストを作るプロジェクトに取り組みました。

毎月、雑草を刈り、約半年をかけてコンポストを完成させた後、実際に梅の木に施肥を行うことで、梅の木の成長に役立てました。

地域の方と一緒にプロジェクトに取り組み、活動を通してコンポストへの認知や理解の広がりにも貢献しています。

